

# UNIVERSITY OF HYOGO

RESEARCH PRESENTATION

## 但馬の地域資源を考える。 (RRM大学院生の研究成果)

本研究科が開設されて10年となりました。現在、20代から70代の大学院生が在籍し、但馬各地で調査に励み、研究に打ち込んでいます。

地域資源マネジメント学の研究課題は、コウノトリの野生復帰やジオパークにとどまらず、歴史や地域づくりなど人の営みを広く含んでいます。

今回の研究報告会は、大学院生9名の研究成果発表を予定しており、今後の但馬の地域資源マネジメントのあり方を展望します。

2024.2/25 (日曜日) 13:00-17:00

### PROGRAM

プログラム

13:00 - 13:05	開会
13:05 - 17:00	発表・質疑応答
	・西村 祐実 水辺の生き物を増やす水田ピオトーブの管理方法
	・白井 あやか コウノトリは嘴をどう打ち鳴らす?
	・溝口 綾乃 水田ピオトーブってどんな状況? —植物に着目して—
	・吉田 樹一 田んぼの生き物の逃げ場づくりはどのような効果をもたらすのか?
	・遠藤 拓 日本海はどのようにしてできたのか
	・山下 大輝 痕跡を連鎖的に捉え、中世瓦をみる!
	・桑島 悠地 新たな行事で地域を元気に! —朝来市内の節分行事に学ぶ—
	・治部 憲良 ハチ高原における観光事業者が描く将来像
・福島 庸介 コウノトリ育む農法が育むカエルと植物	
17:00	閉会

参加費 無料 ※参加希望者多数の場合は、先着100名までとします。

申込締切 2月20日(火) ※ただし、定員に満たない場合は当日まで受け付けます。

### 開催場所

出石永楽館 〒668-0234  
兵庫県豊岡市出石町柳17-2  
TEL.0796-52-5300



### 西の丸駐車場

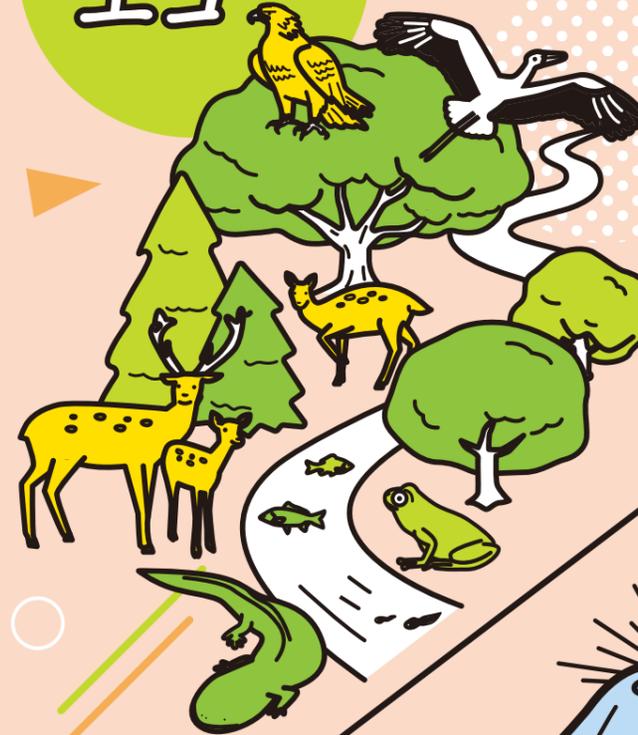
駐車場は「西の丸駐車場」をご利用ください。駐車場入り口で、このチラシを提示してください。スタッフが無料駐車券をお渡しします。※西の丸駐車場以外では駐車券の配布はありません。有料になります。※西の丸駐車場から会場までは徒歩5分程度です。

### 申込方法

Tel 0796-34-6079へ電話連絡、もしくは氏名、住所、連絡先電話番号、車で来られる方は、「西の丸駐車場利用希望」と明記し、メール(rrm@ofc.u-hyogo.ac.jp) またはFax(0796-22-5200)にてお申し込みください。

## 但馬で地域資源を 学びませんか?

生き物を学ぶ  
エコ



人間社会を学ぶ  
ソシオ



大地を学ぶ  
ジオ



兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科  
豊岡ジオ・コウノトリキャンパス



UNIVERSITY OF HYOGO

# UNIVERSITY OF HYOGO

TOYOOKA GEO & KOUNOTORI CAMPUS

兵庫県立大学大学院  
地域資源マネジメント研究科RRM

〒668-0814 豊岡市祥雲寺128(兵庫県立コウノトリの郷公園内)  
兵庫県立大学豊岡ジオ・コウノトリキャンパス

※RRMとは、「Regional Resource Management」の略です。

TEL. 0796-34-6079

FAX. 0796-22-5200

E-Mail: rrm@ofc.u-hyogo.ac.jp

http://www.u-hyogo.ac.jp/rrm/





## コノトリ舞う、山陰海岸ジオパークの地で 地域資源マネジメントを学びませんか？

地域資源マネジメント研究科は、「地域に内在する自然・社会・文化のつながりを科学的に解明し本質的に理解する素養を身につけ、地域資源の発掘・保全・活用を実行できる人材の育成」を目的としています。全国でも貴重な地域資源(コノトリ・ジオパーク等)が存在する兵庫県但馬地域を主なフィールドとし、2014年4月にスタートしました。

### 各コースの紹介

#### GEO 【ジオ分野】

ジオ研究領域の「ジオ geo.」とは「地球の」という意味です。大地と文化の関係について地形や地質の視点からひも解く研究をしています。研究を通じて、地域産業や教育の分野における新しい価値の創出や防災を支援します。

#### ECO 【エコ分野】

再導入されたコノトリの野生復帰に向けた、様々な専門分野の研究手法を取り入れた総合的な研究や、その生息場である田園に生息・生育する動植物の生態学的な研究を行い、その理論に基づく実践スキルを開発します。

#### SOCIO 【ソシオ分野】

大地・自然・人間の関係の過去・現在・未来について、人文社会科学(歴史考古学・社会学・地理学)の立場から研究するとともに、私たちの社会を支えるさまざまな地域資源の保全や活用を考えます。

### 就職先例

- 豊岡市役所
- 山陰海岸ジオパーク推進協議会専門員
- 公益財団法人日本野鳥の会
- 環境コンサルタント会社など
- 朝来市役所
- 福知山公立大学(教員)
- 京都教育大学(教員)

4年間、土日に  
通うだけでも  
修了可能!

### 社会人も学びやすい仕組み

#### 【長期履修制度】

職業を有している等の事情により標準修業年限では教育課程の履修が困難な場合、事情に応じて標準修業年限を超えて(3年以上4年まで)、計画的に教育課程を履修し修了することにより、学位を取得することができる長期履修制度を設けています。授業料の総額は一般履修と同じです。

#### 【授業時間割】

木曜～日曜に開講。主な授業を木金土に開講し、毎年、開講曜日をずらします。このことにより、長期履修制度を活用している社会人学生が、土日に通学するだけで、全科目を履修できるようにしています。

### 入学試験

#### C日程・第2回入試

試験日 2024.3.3 (日) 願書受付 2/7(水)～2/20(火)

試験科目は小論文と口述試験です。 ※英語の試験はありません。

## 大学院在学生の研究紹介

### ジオ研究領域



渡邊 克典

Watanabe Katsunori

出身

大阪府豊中市

#### 調査方法

化石を記録したそれぞれの作品にみられる特徴をデータ化する必要があり、その方法の確立に取り組んでいます。

#### 研究内容

「龍骨図」は、江戸時代に発掘されたゾウの化石(当時は龍の骨や歯と考えられていました)を記録として残した作品です。複数の作品間にはわずかな違いが認められ、それがどのような意味をもつのか研究しています。

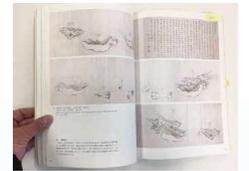


写真:近江龍骨図が掲載された図録(鈴木・南,1997)

#### 進学理由

自然系の博物館が大好きで、学芸職の非常勤を渡り歩いており、キャリアアップを図るべく入学しました。以前少し調べていた文化地質学的なテーマで研究を進めることになり、全分野の先生方にお世話になっております。

### エコ研究領域



糸賀 友紀

Itoga Yuki

出身

兵庫県伊丹市

#### 調査方法

水田やピオトープ等で網を用いて水生動物の採集、カメラを設置して大型鳥類の採餌利用状況を調査します。

#### 研究内容

多様な水田管理(水田内にマルチトープ、ソーラーパネル設置)が行われている地域で、各水田の生物群集の特徴を明らかにします。また、このような取り組みの実施による生物多様性への効果を調べます。

#### 進学理由

大学の実習でこのキャンパスを訪れる機会があり、コノトリを中心とした豊岡の環境保全活動について学びました。絶滅危惧種など多い自然豊かな環境で、生物多様性の保全について研究を行いたいと思いました。



写真:①ソーラーパネルが設置された水田(豊岡市三宅) ②調査風景水田(豊岡市三宅)

### ソシオ研究領域



中西 優子

Nakajishi Yuki

出身

兵庫県豊岡市竹野町

#### 調査方法

「八代オクラ」を生産する地域コミュニティと、それを給食に使用する学校給食センター・小学校への聞き取り調査。

#### 研究内容

学校給食では、地域食材を食べることで「食育」の教材として活用されています。その地域食材を生産した地域コミュニティに、食育がどのような影響を及ぼすのかを研究しています。

#### 進学理由

住んでいる地区の昔の暮らし等を調べ地域の人々に伝える活動をしています。その活動を通じもっと地域のことを深く知り学びたい。地域資源のマネジメントについて研究できるこの大学が最適だと思い入学しました。



写真:①豊岡市日高町八代地区で、児童・教員・生産者の地域住民による八代オクラ収穫の様子 ②八代オクラ。③給食当日に配布されたしおり。